

## 常磐線特急列車の主な変更

### 特急列車の名称が変わります

○速達タイプ「スーパーひたち」

○停車タイプ「フレッシュひたち」

新名称 **ひたち**

新名称 **ときわ**

※本市発着（上下線）は「ひたち」が各15本、「ときわ」が各1本で、これまでと同じ本数です。

### 「ひたち」「ときわ」の普通車で新たな着席サービスが始まります

自由席の設定がなくなります。全ての座席の指定が可能となり、座席の指定を受けなくても車内の空席を利用できるサービスが導入されます。

※グリーン車には、このサービスは適用されません。

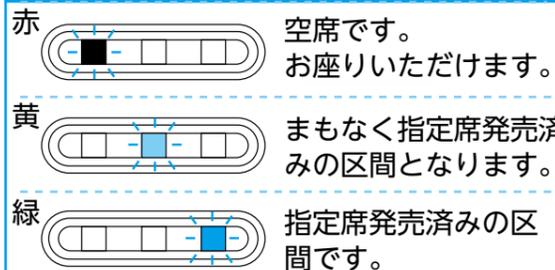
#### 座席の指定を受けて乗車する場合

今まで同様、指定された座席を利用

#### 座席の指定を受けずに乗車する場合

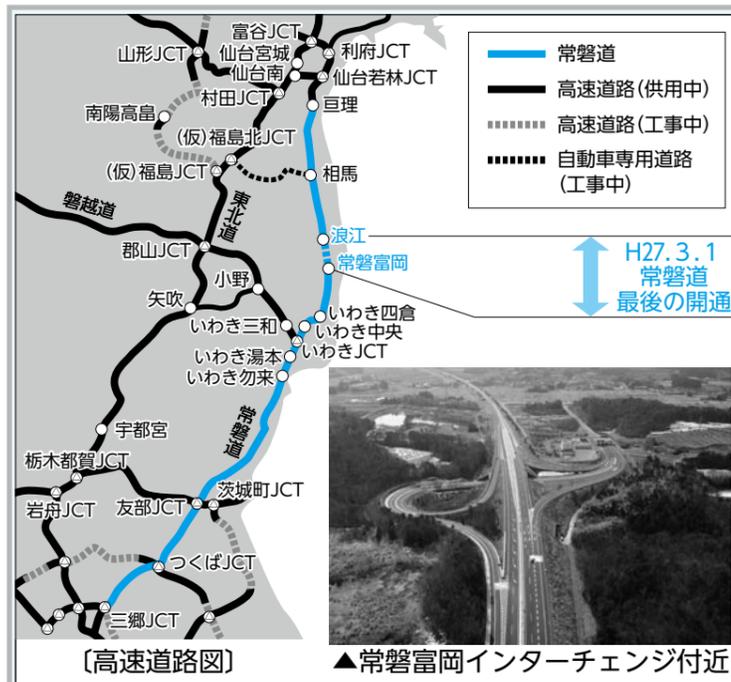
乗車日・区間のみを指定した特急券を購入し、乗車後に座席上方のランプ（図2）を確認し、空席を利用

#### （図2）座席上方ランプの発売状況表示例



#### お問い合わせ

- 特急列車に関すること JR東日本お問い合わせセンター ☎050-2016-1600
- 鉄道交通対策に関すること 市総合交通対策室 ☎22-1120



**常磐自動車道が全線開通**

三月一日、常磐自動車道（常磐道）の常磐富岡インターチェンジと浪江インターチェンジ間が開通し、常磐道の全線が開通しました。

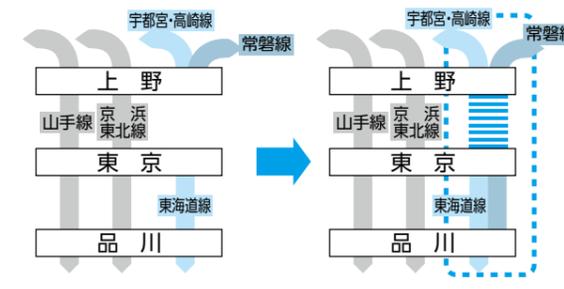
これにより、震災以降内陸部への迂回を余儀なくされていた相馬、いわき間や、仙台、いわき間

の移動時間が大幅に短縮され、常磐道は浜通りの重要な交通路として、地域経済の発展や復興事業への貢献が期待されます。また、津波被害のない高台を通過するため、緊急時の「命の道」としての機能も期待されています。

## 利便性やアクセス性が向上し、さまざまな効果が期待



（図1）「上野東京ライン」開業後の輸送体系



上野東京ラインの開業で常磐線が品川駅直通に  
上野駅と東京駅を結ぶ山手線・京浜東北線の混雑緩和と、直通輸送体系による所要時間の短縮を図るため「上野東京ライン（図1）」が、三月十四日に開業します。

同ラインの開業により、常磐線は品川駅までの乗り入れが可能となり、本市発着の特急列車のほとんどが東京・品川駅との直通運転に変わります。

これに伴い、上野駅では、品川駅発着の特急列車が八番・九番ホームに停車するようになり、上野駅始発の場合は、これまでどおり十六番・十七番ホームから出発します。

また、本市から首都圏への速達性の観点から、市内の特急列車の停車駅がいわき・湯本・泉・勿来駅に変更され、勿来駅にはこれまでより多く停車します。

そのほかの変更点など、詳しくはJR東日本にお問い合わせください。

**さまざまな効果が期待される直通運転**

常磐線は、本市と首都圏を最短時間で結ぶ大動脈交通であり、特急列車が東京・品川駅と直通運転されることでさまざまな効果が期待されます。

まず、東京駅と品川駅までの乗り換えが不要となり、移動時間も短縮され、利便性が向上します。

さらに、首都圏をはじめ、東海・西日本地区とのアクセス性が向上することで、ビジネスやレジャー利用、企業進出が促進されるなど、観光業をはじめとした地域経済の活性化が期待されます。

**要望活動を実施**

市は、国やJR東日本に対し、本市の鉄道交通の利便性向上や機能強化のため、

- 要望活動を行っています。
- 【主要要望内容】**
- ① 高萩駅発着の特急列車のいわき駅発着への変更
  - ② 特急列車の停車駅に植田駅を追加
  - ③ 勿来駅のパーク＆ライドの早期拡大
  - ④ 常磐線全線の早期復旧
  - ⑤ 特別企画乗車券などの販売再開
- ◆ ◆ ◆
- 今後も引き続き要望活動を行い、沿線自治体と連携しながら、鉄道交通のさらなる利便性と魅力の向上を図ってまいります。



JR東日本水戸支社での要望活動

# 3月14日 特急列車の品川駅乗り入れ開始